第二期北本市子ども・子育て支援事業計画(案)に対する意見一覧
(パブリック・コメント手続の結果)

No.	意見の内容	市の考え方
1	<p>北本市内学童保育、中丸学童保育室は来年度133名の児童受け入れとなります。1.65m2の空間確保はどのように検討し、それはいつ施工されるのでしょうか？待機児童0という市のアピールは果たしても、実態はぎゅうぎゅう詰めの悪環境を強いられています。昨年より学校の空き教室を利用して頂きましたが、リフォームは、元の形に戻れるようにと、使い勝手の悪いところでトイレも学校の遠く離れたトイレの為我慢して粗相してしまう生徒もいました。来年1年生が入る事で、机も足りなくなってしまうとの事です。確かにPTAのように役員の活動や行事で保護者が、与えられた仕事をこなさなければならぬ制約はありますが、だから子どもたちの様子や声にならない要望を市に訴えて、現状お伝えしてきました。5年二期の子供子育て会議でも、意見を伝えても、検討するという曖昧な回答でしか、担当課として回答しないのはどんなものなのでしょうか？</p> <p>今後少子化で人数が減少するまで、狭い環境で我慢を強いると、ただそれもいつまでそれを続けるかさえも、答えない。確かだけど箱物ヲ市が所有すれば、それは大きな負担になるのだろう。けれど現状の混雑ぶりを見て見ぬふりが北本市の方針ならば、更に人口の激減に繋がりますよ。</p> <p>改めて、北本市の学童保育を見つめてください。視察にしてもおざなりでなくしっかりとおやつ等の時間においていただいで、騒音やガチャガチャ感を体感してください。第二学童保育室を設置して欲しい要望はあります。しかし、時代に即した民間で賃貸物件を借りて、民間で運営して、学童数が減少した場合は、お返しすることなら、市にとっても無駄な施設設備となる事なく運営出来るのではないのでしょうか？</p> <p>是非改めてご検討よろしく申し上げます。</p>	<p>中丸学童保育室につきましては、平成31年より多目的室であった教室を学童保育室の分室として使用してきました。令和2年度からは、1支援単位当たりの人数の多い、中丸学童保育室と西第1学童保育室をそれぞれ2支援単位に分けて、支援員を配置していく予定です。このことにより、子どもたちへの支援も手厚くできるものと考えます。</p> <p>賃貸物件を借りて学童をそこで運営していく、というご提案につきましては、先進地事例を参考に調査研究してまいりたいと考えます。</p>
2	<p>事業計画書の26ページに掲げる「3 幼児教育・保育施設との連携方策」における【主な取組案】について下記のとおり項目を追加する必要があります。</p> <p>3月末に保育所を卒園した児童が最初に通う施設は、小学校ではなく、放課後児童食クラブ(学童保育室)です。したがって、小学校との連携に加えて、放課後児童クラブ(学童保育室)との連携が必須です。故に、【主な取組案】に「放課後児童クラブの職員と保育所・幼稚園年長担任による情報の共有」を項目として加えてください。</p>	<p>放課後児童クラブと幼稚園・保育所との連携は、どのように実施していくのか見通しが立っていないため、取組案として掲載することは難しい状況です。</p> <p>放課後児童クラブと幼稚園・保育所との連携につきましては、今後調査研究を行うとともに、取組を具体化できた時点で計画の変更などにより追加してまいりたいと考えます。</p>